

2019年6月21日



一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

2019年5月 マンスリーレポート

集計企業数 55 社

①売上高・前年同月比

| | 全店 | | | 既存店 | |
|-------|---------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
| | 売上高 | 構成比(前月) | 前年同月比(前月) | 売上高 | 前年同月比(前月) |
| 総 額 | 57,919,000 万円 | 100.0% | 101.4% (100.5%) | 55,478,708 万円 | 99.9% (98.5%) |
| 食 料 品 | 49,521,068 万円 | 85.5% (85.3%) | 101.3% (100.9%) | 47,439,172 万円 | 99.8% (99.2%) |
| 農 産 | 7,359,132 万円 | 12.7% (12.6%) | 101.6% (100.5%) | 7,130,768 万円 | 100.0% (98.9%) |
| 水 産 | 4,544,963 万円 | 7.8% (7.9%) | 101.9% (101.6%) | 4,400,053 万円 | 100.1% (99.8%) |
| 畜 産 | 6,224,177 万円 | 10.7% (10.7%) | 100.3% (100.6%) | 6,012,009 万円 | 98.3% (98.6%) |
| 惣 菜 | 5,942,573 万円 | 10.3% (10.3%) | 103.4% (102.5%) | 5,734,006 万円 | 101.5% (100.5%) |
| 日配食品 | 11,272,917 万円 | 19.5% (19.1%) | 101.2% (100.1%) | 10,397,737 万円 | 99.8% (98.4%) |
| 加工食品 | 14,177,306 万円 | 24.5% (24.7%) | 100.7% (101.0%) | 13,764,600 万円 | 99.6% (99.5%) |
| 生活関連 | 3,426,081 万円 | 5.9% (6.1%) | 101.5% (98.4%) | 3,339,469 万円 | 99.7% (96.7%) |
| 衣 料 品 | 1,696,558 万円 | 2.9% (2.8%) | 100.2% (92.7%) | 1,622,732 万円 | 99.7% (90.7%) |
| そ の 他 | 3,275,294 万円 | 5.7% (5.9%) | 102.7% (101.3%) | 3,077,335 万円 | 101.0% (99.1%) |

② 数 値

| | | | |
|--------|----------------------------|-------|-----------|
| 全店総売上高 | 57,919,000 万円 | 店舗数 | 4,875 店舗 |
| 総売場面積 | 9,568,728.1 m ² | 総従業員数 | 260,058 人 |

| | | | |
|-------------------------|------------------|-----------|------------------------|
| 店舗平均月商 | 11,880.8 万円 | 平均客単価 | 1,882.0円 (101.4%) |
| 月間m ² 売上(前月) | 6.1 万円 (5.9万円) | 平均店舗面積 | 1,962.8 m ² |
| 月間坪売上(前月) | 20.0 万円 (19.6万円) | パート比率(前月) | 77.1% (77.1%) |

注) 総従業員数・・・パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 5月の天候は、ほぼ全国的に高気圧に覆われたため晴れた日が多く、月の平均気温はかなり高かった。そのため月の降水量は少なかった
- ・ 生鮮品の相場状況について、青果物は野菜、果実ともに品目全体では前年並みであった。水産物は、例年より長い大型連休のため総入荷量が減少、主要品目では、サバやアジなどの大衆魚とカツオの卸売価格が安値で推移、その他品目は概ね前年より高値で推移をした。畜産物では、和牛が前年よりやや高値、鶏のむね肉は安値であった
- ・ 本年は「即位の日」と「国民の休日」の2日、ゴールデンウィーク期間中の祝日回数が多く、月の前半は好調とした一方、後半は買い控えが生じ不調であったとのコメントが多く見られた

《 商品動向 》

・ 農産

- ・ 気温の上昇に伴い、トマトやレタスなどのサラダ野菜が好調であった
- ・ 炒め野菜や菌茸類などのバーベキュー商材が好調であった
- ・ キュウリとニンジンが相場安の影響により一品単価が下落、売上は不調であった
- ・ 果実類は、国産果実ではスイカとイチゴ、輸入果実ではキウイフルーツが好調であった

・ 水産

- ・ ハレの日（改元・こどもの日・母の日）が続いたため、マグロやサーモンを中心とした刺身類や手巻き寿司材料が好調であったほか、気温の上昇により海藻類が好調であった
- ・ バーベキュー材料やサラダ材料として、貝類やエビなどが好調であった
- ・ 旬のカツオは好調であったとのコメントが見られた一方、アニサキスの影響を考慮し、販売方法を見直したため不調であったとのコメントも見られ、好不調が分かれる結果であった
- ・ 塩干類が不調であったとのコメントが多く見られた

・ 畜産

- ・ 精肉の畜種別では牛肉と鶏肉が概ね好調、用途別ではステーキ用と焼肉用が好調であった
- ・ ハムやソーセージなどの加工肉は不調であったとのコメントが多く見られた

・ 惣菜

- ・ 弁当や寿司などの米飯類が、特にゴールデンウィーク期間から母の日にかけて好調であった
- ・ 気温の上昇により、涼味惣菜（麺類・サラダ・酢の物）や、おつまみ商材、中華惣菜が好調であった

- ・ 日配・加工食品

- ・ 気温環境により、アイスや飲料、チルド麺や乾麺（素麺・冷麦など）といった涼味関連商品が好調であった一方、パンやスープなどが不調であった。その他、酒類については好不調が分かれる結果であった
- ・ 前月に値上げとなった商品について、ヨーグルトが不調であった一方、牛乳は好不調が分かれる結果であった
- ・ 缶詰と納豆の好調が続いている

- ・ ゴールデンウィーク期間中（改元・行楽・こどもの日）の動向について

- ・ 10連休となったゴールデンウィーク期間は、都心店舗では流出傾向となり不調、郊外店舗は流入傾向となり好調であったとのコメントが見られた
- ・ 大型連休に改元のお祝いムードが重なったため、握り寿司や手巻き寿司、刺身や赤飯、オードブルなどご馳走商材が好調であった
- ・ 改元初日は価格訴求やポイントアップ等の集客企画を行うほか、福袋の販売やイベントの実施などが見られた
- ・ こどもの日の動向について、ご馳走商材は概ね好調、柏餅などの和菓子は前年並みかやや不調であった

- ・ 母の日マーケットの動向について

- ・ 母の日の当日は、ゴールデンウィーク期間中と同様にご馳走商材が好調であったほか、高単価の弁当や寿司が好調であったとのコメントが見られた
- ・ フラワーギフトについて、予約販売は不調であったが、当日販売は概ね好調であった

以 上